

ユニット 2

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目） 取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	6	
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	3	
		1 外部評価1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の方にも気軽に来ていただく為の居場所の提供や、守秘義務に基づく相談等も出来るような施設であり、地域との交流も怠らないといった理念をつくりあげている。	1	更に、地域と密着していく為に行政への働きかけを行っていきたい。
		2 外部評価2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は常に施設の理念を頭に入れておく為に月曜日の朝礼で、理念と基本方針を読み上げている。また、理念に基づいたケアが出来るような研修も行っている。	1	職員に職場の理念をどのように理解しているのかのアンケートを実施した結果、半数以上の職員が理念を理解し、理念に沿ったケアをしているとの回答があった。今後も、全職員が理念を理解し、ケアの本質が見出せるような勉強会も必要ではないかと考えております。
		3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	地域の方も気軽に来ていただき、地域の方との交流ができることを目的とし、地域と共に暮らしていけるような基本方針を掲げている。	1	地域住民すべてが理解しているとは思えないが、今後は、事業所の行事を通して参加呼びかけを行い、自分達のケアの在り方を伝えられるような働きかけをしていきたい。
		2	地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	0	
		4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	日常的に散歩の途中では、挨拶を交わしたりホームでの催しの時は、声かけをしてご近所の方も参加していただけるように日頃から声かけ合っている。	0	
	5 外部評価3	地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の文化祭や夏祭り等には利用者と共に積極的に参加している。また、ホームの催しがある時などボランティアで来ていただいている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支 地 え 域 合 の い の	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進会議や、地域の行事のときには、民生委員や区長・老人会の方にも、私たちができることや、協力できるようなことはないだろうか、お願いしている。また、地域の防犯パトロールにも職員が交代で参加している。	0	
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	2	
	3 理 念 を 実 践 す る た め の 制 度 の 理 解 と 活 用	7 外 部 評 価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	カンファレンスにおいて外部評価の目的を説明し、自己評価を全職員で行い、評価の為に改善ではなく、利用者の為になるような改善に取り組んでいる。	0	
		8 外 部 評 価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月1回の運営推進会議では、事業所の状況報告と地域や行政等の意見も聞き、	0	
		9 外 部 評 価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村の窓口には、行く機会も多く、市町村主催の情報交換会にも出席している。	0	
		10 外 部 評 価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	地域福祉権利擁護事業や成年後見制度については、管理者が、必要な利用者には、制度の説明や利用の仕方を説明しているが、職員が直接利用者や家族に説明することはない。	1	必要とする人への情報提供は管理者が行っているが、全職員が周知、理解するために内部研修もしていきたい。
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	開設以来、虐待の事実はない。	1	高齢者虐待防止や権利擁護についての勉強会も行っていく必要があると考えています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	0	
理念に基づく運営	理念を 実践する ための 体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所する前や入所されてからも、時間をかけて丁寧に説明している。特に利用料金や医療連携体制の実際、起こりうるリスク等については、詳しく説明し、納得されてから契約を交わしている。	0	
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の言葉や態度からその思いを察する努力をし、利用者本意の運営を心掛けている。また、これについての勉強会も行っている。	0	
		14	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の通信を月に1回発行し、日々の様子を家族の方に知らせている。	0	
		15	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の会で、家族との意見交換を行い家族の要望を聞く機会を設けている。また、外部への苦情処理窓口があることも知らせている。	0	
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1度のカンファレンスで職員の意見を聞くようにしている。また、個別でのアンケートの実施、希望があれば面談もおこなっている。	0	
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	管理者は状況に応じた対応ができるように通常のシフトには入れず、夜間の対応や利用者の状態の変化に応じた柔軟な体制がとれるようにし、職員の体制も無理のない体制になっている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に 基づく 運営	4	18 外部 評価 10	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	信頼関係を築くために馴染みの職員が対応することが重要なことだと考えており、職員同士も楽しくできるような雰囲気であり、職員間のトラブルが利用者の方に影響しないように配慮している。	0	
	5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)		自己評価6項目・外部評価4項目	1	
	5 人材の 育成と 支援	19 外部 評価 11	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員の採用にあたっては、特に年齢や性別の限定はなく、本人のやる気を優先している。また、楽しく仕事することを目的とし、個々の能力に合った役割分担をして本人の能力がフルに發揮できるような働きかけをしている。	0	
		20 外部 評価 12	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	入職時に個人情報の保護、守秘義務についての話をし、誓約書も書いてもらっている。	0	
		21 外部 評価 13	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員研修のための年間計画をたて、事業所内での勉強会や外部の研修も受講できるようにしている。	1	新人研修も含め、今後も、外部の研修も個々にあった研修が受講できるようにしていきたい。
		22 外部 評価 14	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他施設との交流ができるような研修会に参加し、交流を深めて、お互いが見学しあい情報の交換を行うなど少しずつではあるが行うようになっている。	0	
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	面談などを行って、職員のストレスや悩みを把握するように努めている。そして助言などを行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人材 支援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	管理者から運営者に報告を行い、また運営者も現場で利用者の方と過ごしたり、職員から話を聞いたりしている。	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	7	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)		自己評価4項目・外部評価1項目	2	
		25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人の思いや不安を受け止め、職員が本人に受け入れられるような関係作りに努めている。	1	認知症高齢者の方の思いを聞き取ることは、とても困難なことだと思います。しかし、私達は、認知症高齢者の方の存在を大切にし、その人の思いを受け止める努力がまだまだ必要だと考えております。
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	これまでの家族の苦労や今までのサービスの利用状況などをゆっくり聞くようにし、家族が求めていることなどを話してもらい、事業所としてはどのような対応ができるか事前に話し合っている。	0	
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所の相談があり、満室である時は運営者のもう一つのグループホームなどを紹介している。また、見学の相談であれば、いつでも見学できるようにしている。	0	
		28 外部評価 15	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	まずは馴染んでもらえるように努め、職員、他の利用者の方に馴染んできたところでサービスを開始するようにしている。	1	馴染んでもらえるような努力はしているのですが、果たして本人は納得しているのだろうかと自問自答していることもあります。
	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)		自己評価6項目・外部評価1項目	5		
2 係り 継続 これ な ま ま の 支 援 開 く	29 外部 評価 16	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人の思いの中の苦しみ、喜び、不安を知り暮らしていく中で一緒に分かち合い、笑いが絶えないグループホームを目指すように心掛けている。	1	楽しく仕事ができる職場と、利用者様がいい表情でいてくれることを目標にしていきたいと思っております。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	利用者の様子を細かく伝えることで、利用者の状態を知ってもらい、家族の思いを聞くことで本人を支えていく為の協力関係が築けるようにしている。	1	私達と馴染みの関係になっても利用者様本人にとってはかけがえのない家族であると思っています。私達ができることは、家族のお手伝いであることが前提であることを家族にも理解してもらいたいと思っています。してあげる立場ではなく、共に支えあう立場であることを家族も私達職員も認識していく必要があると考えております。
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人の日頃の状態を報告・相談するとともに最低でも月に1度は御本人と面談していただくように伝えている。	1	施設に入所することで、家族の顔も忘れてしまわれる利用者様を家族がどのように支援していけばよいのか、今後の家族の思いや関わり方を大切にして、よい橋渡しができるようにしていきたい。
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域に暮らす、馴染みの知人・友人などに来所していただき御本人と話をしてもらうように働きかけている。	1	なかなか全部の利用者の方が馴染みの人との関係や場所が途切れていないかといわれればそうでもないと思います。
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	個別に話を聞いたり、利用者同士の関係性について情報連携し、すべての職員が共有できるようにしている。	1	自宅でひとりで過ごすことを望む利用者様に対して利用者同士の関わりを押し付けられないという状況もあり、利用者同士、すべてがうまく関わりあっているかといわれればそうでもないと思うところもあります。
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	他の事業所へ移られた方にも、管理者がその家族の方と情報を共有するようにしている。	0	
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目	1	
1 一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)				自己評価 3項目・外部評価 1項目	1	
1	把握ひとり	35 外部評価 17	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の係わりの中で、声掛けをし、把握に努めている。意思疎通が困難な方には、御家族から情報を得るようにしている。	1	本人の思いを汲み取ることを前提にした、関わりを持つための勉強会の開催、ケアカンファレンス会議を行っている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいき たい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時のアセスメントの時点で、これまでされてきた暮らし方などを聞き、わからない時は御家族の方に聞くように努めている。	0	
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	利用者一人一人の生活リズムを理解するとともに、できないことよりできることに注目し、その人全体の把握に努めている。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	0		
	2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	38 外部評価18	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	御本人や御家族には日頃の係わりの中で思いや意見を聞き反映させるようにしている。カンファレンスでの意見交換も行うようにしている。	0	
		39 外部評価19	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	御本人の状態の変化に合わせて、御家族の方と相談し、援助していくようにしている。	0	
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	職員の気づきや利用者の状態変化は、個々のケア記録に記載し、職員間の情報共有を徹底している。その中で計画の見直しに活かすようにしている。	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3 多機能を活かした柔軟な支援	41 外部評価20	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療連携を活かして、急な受診、入院にも対応できるようにしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	0	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議にて民生委員の方も参加してもいい、事業所の行事にも地域のボランティアの方に参加していただいている。消防署の方に立ち会ってもらい防災訓練を行っている。	0	
	4		本人がより良く暮らし続けるためのケアマネジメント			
		43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	地域の町内会が開催する行事に参加したり、訪問の歯科や理容サービスを利用している。	0	
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に地域包括支援センターの職員に参加してもらい、情報交換や協力関係を築いている。	0	
		45	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	これまで馴染みのあるかかりつけの病院を利用してもらうようにしている。職員が車で通院介助を行い、御本人の希望に応じて提携している医療機関に相談することもある。	0	
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	提携医療機関の医師、またかかりつけの専門医に診断情報や治療方針、認知症についての指示や助言をもらっている。	0	
	47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	利用者の状態を看護職員に相談し、助言や対応の仕方をもらっている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時に本人の支援方法に関する情報を医療機関に提供し、職員が見舞いに行った時に洗濯物などを預り、洗濯するようにし、家族とも情報交換しながら、回復状況等速やかな退院支援に結び付けている。	0	
		49 外部 評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	今後のことを家族や医師と繰り返し話しをし、これからの支援につなげていこうと思う。	0	
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	家族の意向を踏まえ、職員と話し合いを行い、医療機関とも連携を図り、対応していこうと思う。	0	
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	これまでの生活環境、支援の内容などを情報提供するようにしている。	0	
		その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価38項目・外部評価11項目
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価30項目・外部評価9項目	7	
		(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)		自己評価3項目・外部評価2項目	1	
		52 外部 評価 23	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	さりげない言葉かけや対応にもプライバシーを損なうことのないケアを行うようにしている。	0	
		53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	職員が決めたことを押し付けるのではなく、利用者の表情などを読み取り、わかるように説明することで、利用者が自分で決めてもらえるように対応している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日の流れはあるが、その中で利用者が過ごしたいようにできるように本人の気持ちを尊重している。	1	利用者本意、利用者のペースで過ごすことが重要であるが、つつい介護者側の都合になってしまうこともある為、再度ケアの在り方を再確認していくことも必要だと考えております。
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55～60・外部 25～26)	自己評価6項目・外部評価2項目	1	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	朝の着替えは基本的に本人の意向で決めているが、自己決定がしにくい利用者には職員が利用者の気持ちに寄り添い支援している。誕生会などの行事の時には化粧やおしゃれを楽しんでもらえるように取り組んでいる。	0	
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の片づけ、食器洗いを利用者と共にし、調理補助もできる時にはやってもらっている。利用者が同じテーブルを囲んで楽しく食事できるように雰囲気作りも大切にしている。	0	
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	職員は、一人一人の好物を理解しており本人の様子を見ながら、それを楽しめるようにしている。	0	
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	利用者一人一人の排泄パターンの把握に努めて誘導するようにしている。	0	
		59 外部評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は決まってはいるが、本人の状態や意思にそって支援するようにしている。	1	利用者様全部の希望がとれないことと、夜間の時間帯を考えると、希望の時間に入浴できているとはいえないが、ひとりで入浴できる利用者様に対しては、希望にそった入浴支援ができるように改善していきたいと思っております。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	なるべく日中の活動を促して、生活リズムを整えるように努めている。利用者の希望や体調なども考慮して、ゆっくり休息がとれるように支援している。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価 6 項目・外部評価 2 項目	2	
		61 外部 評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者様のこれまでの生活歴、状態などからお願いできそうなことは頼むようにし、感謝の言葉を添えて意欲がもてるような働きかけをしている。	0	
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	全員ではないが、希望があれば買い物などは行くようにし、ほしいものがあれば自分でお金を払ってもらうように支援している。	0	
		63 外部 評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気のよい日には、本人の希望に応じて戸外に散歩に行ったりドライブに連れて行って気分転換をはなっている。	0	
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	計画を立てて花見やドライブを兼ねて遠方まで、車で外出している。	1	家族の方への参加も呼びかけているが、なかなか強制はできなくて家族の方も一緒にということが少ないと思う。今後は、家族の方と利用者が共に外出できるように家族へも働きかけていきたいと思っています。
		65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状は出すための支援を欠かさず行い、利用者の希望に応じてハガキなども出せるように支援している。	1	すべての利用者が電話をしたり、手紙を書ける訳ではないため、一部の利用者様に限られてしまっております。今後は、一筆でも本人様の文字が入った賀状を作っていければとかがえております。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	気軽に来やすい雰囲気作りを心がけており、御家族や友人・知人の都合のいい時間帯にいつでも訪ねて来ていただけるような配慮をしている。	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価 8項目・外部評価 2項目	2	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関する資料を職員全員に読んでもらえるように設置している。	1	今後は、職員全員が身体拘束を十分に理解するための勉強会や事例を用いた事例検討会等も行っていく必要があると思っている。	
		68 外部評価 29	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間は戸じまりをしているが、日中は、鍵をかけずに自由に出入りができるようにしている。	0		
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員は利用者と同じ空間で記録などの作業を行いながら、さりげなく全員の状況を把握するように努めている。夜間は数時間ごとに利用者の様子を確認するようにしている。	0		
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を 律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	全て取り除くようなことはなく、家庭的に暮していけるようにし、利用者の状況によって注意を促していくなど、ケースに応じた対応をしている。	0		
		71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	一人一人の状態から予測される危険を考え、事故を未然に防ぐために支援している。ヒヤリハットを記録し、職員の共有確認を図り、万が一事故が発生した場合は速やかに事故報告書を作成し事故原因の今後の予防対策について検討し、家族への説明と報告を行っている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	消防署の方に来所してもらい応急手当の勉強会を実施した。緊急時マニュアルを整備。	1	マニュアルは整備しているが職員が意識して仕事をしていくためにも定期的に勉強会や訓練をしていく必要があると思っております。
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回の避難訓練を実施している。消防署立会い、消化器の使い方などの訓練も行い、夜間想定も行っている。地震対策や備蓄品の整備が未だなされていない。災害時の近隣の住民の協力体制においても整っていない。	0	
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	体力の低下と共に起こり得るリスクについて家族に説明を行い、家庭的な雰囲気大切にしているので、玄関の施設は行わず抑圧感のない暮らしを心掛けている。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	1	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	普段からの状況を職員は把握しており、少しでも食欲や顔色、様子などの変化が見られた時はバイタルチェックを行い、記録につけている。状況により医療機関につなげている。	0	
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人一人の利用者の薬の文献をファイルして職員が内容を把握できるようにしている。服薬時は、服薬しているかの確認を職員同士でおこなっている。また、状態の変化でくるりの変更があった時も申し送りの徹底をしている。	0	
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便チェックをして、一人一人の排泄パターンを把握している。どうしても排便がない利用者様にはいきなり下剤を使うのではなく、水分補給や腹部マッサージ、散歩など体を動かすようにして自然排便ができるようにしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後に歯磨きの声掛けを行い、能力に応じて職員が見守ったり、介助を行っている。週に1度入れ歯の洗浄も行っている。	0		
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食後、食事の摂取量を記録し利用者様に応じて量の調整をしており、栄養が偏らないように栄養士がバランスを考えながらメニューを考えている。また、お茶などの要求がない利用者様にもこまめに水分補給をするように心がけている。	0		
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	外部研修で感染症予防の勉強会にも参加し、マニュアルも作成している。また、感染予防のために手洗い場に消毒液を設置、外出後の手洗い、うがいの徹底している。	1	感染症について、職員が周知・理解するように施設内でも定期的に勉強会をして感染予防に努めていきたいと考えております。	
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板や布巾など調理器具はこまめに漂白し、清潔を心掛けている。冷蔵庫も点検、掃除をし、食材の残りは、鮮度や状態を確認して、冷凍したり、処分したりしている。	0		
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)			自己評価 8項目・外部評価 2項目	0	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)			自己評価 5項目・外部評価 2項目	0	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関先にはベンチやプランターなどを置き、利用者様や家族がのんびりすごせるようにしている。	0		
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間や食堂からも台所がみられるようになっており、利用者様も手伝っていただけるようになっていいる。居間には、季節に応じたカレンダーを飾るようにして、皆が一緒に過ごせるよういしている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでほしい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間にソファやその方の専用の椅子を置くなどし、居心地の良い空間を作っている。	0		
		85 外部評価33	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時に、利用者様の馴染みの家具を用意するように家族には話していますが、家族により、持ってきれいだだけの方と新しく購入される方とそれぞれです。	0		
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	掃除の時やトイレのにおいなどがよどまないように、こまめに換気をおこない、暖房や冷房調整も利用者様に合わせておこなっている。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	0	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	家具の配置等に気をつけ、生活空間で転倒につながる原因にならないようにしている。	0		
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	状況に応じて環境整備に努めているが、本人が馴染んできたものは大切にしている。	0		
		89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	庭に花を植えたり、畑を作り野菜を栽培し、利用者様が日常的に楽しみながら活動できるよう環境をつくっている。また、利用者様と一緒に水撒き、草取り、植え付けをしている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	1		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	2		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	1	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	2	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。